

平成30年第3回定例市議会

*
*
*
*
*
*
*
*
*

行 政 報 告

北海道恵庭市

第3回定例会が開催されるに当たりまして、第2回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

自衛隊の体制
維持・強化について

はじめに、自衛隊の体制維持・強化について申し上げます。

本市といたしましては、地域コミュニティの維持・活性化に繋がるものとして、市内3個駐屯地の拡充や自衛隊員の増強について、5月から6月にかけて、北海道防衛局、陸上自衛隊北部方面総監部、陸上自衛隊第7師団などに対し、市議会とともに要望活動に取り組んでおります。

また、7月23日には「自衛隊の体制維持・強化を求める市民の会」として、市議会議長、市議会防衛議員連盟役員や隊友会恵庭支部などとともに国に対し自衛隊の体制維持・強化を求める要望を行ったところであります。

さらに、現在新たな「防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画」の策定作業が進められていることなどから、7月24日には北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会主催による「北海道の自衛隊を支える中央大会2018」に参加いたしました。

今後も、国の動向を注視しながら、積極的に自衛隊の体制維持・強化に取り組んで参ります。

ティマル市との
姉妹都市締結10
周年記念式典につ
いて

次に、ティマル市との姉妹都市締結10周年記念式典について申し上げます。

7月1日から7月5日にかけて、ティマル市よりデイモン・オデイ市長をはじめ、訪問団一行5名をお迎えし、姉妹都市締結10周年を記念した祝賀行事を開催いたしました。

7月2日には記念式典と石碑除幕式、同日夜に歓迎レセプションを開催し、市議会議長をはじめ多くの関係者に参加をいただきました。

改めてお礼を申し上げます。

7月3日には議会、7月4日には恵庭ニュージージーランド協会による歓迎レセプションが開催され、親交をさらに深めたところであります。

今後も、本市とティマル市の交流が一層促進されるよう努めて参ります。

まちづくり基本
条例の見直しにつ
いて

次に、まちづくり基本条例の見直しについて申し上げます。

まちづくり基本条例では、「5年を超えない期間ごとに」社会情勢に適合しているものであるか検討を行うことを定めており、本年4月には「恵庭市まちづくり基本条例市民検討委員会」を設置し、各条項に基づく取組状況や、適合状況等について検証を行っていただきました。

その結果を踏まえ、9月3日に市民検討委員会から市に対して、意見書が提出されたことから、庁内推進委員会において、その内容を尊重し、まちづくり基本条例の見直しや協働のまちづくりの更なる推進について協議を行ったところであります。

今後は、市民説明会を開催するほか、市議会での意見をいただき、報告書として取りまとめて参ります。

まちづくり拠点
整備事業について

次に、まちづくり拠点整備事業について申し上げます。

南島松地区住宅地「スマートタウン・ふれる恵み野」については、本年4月の開発行為の許可後、造成工事に着手し10月末完了に向け作業が進められております。

当住宅地は、300平方メートル以上のゆとりある宅地や、マイホーム発電システムの推奨、また、景観への配慮や環境にやさしい住宅地をコンセプトとして民間事業者が整備販売を行っており、既に数件の契約が完了し、問合せや予約も増加していると聞いております。

今後も、市内外への広告・宣伝を行い、移住定住施策の一環として、

事業の推進に協力して参ります。

次に、花の拠点整備についてですが、来年度の工事着手に向け、実施設計及び用地買収と移転補償を進めております。

また、企業へのサウンディング型市場調査結果に基づき、本年8月中旬に「道と川の駅」と「センターハウス」の公募のほか、パークPFI制度による新たな宿泊施設の公募を開始いたしました。

次に、戸磯地区新工業団地整備についてですが、組合施行による土地区画整理事業の着手に向け、準備組合により本年度の事業認可や組合設立に向けた手続きが進められており、本市としては、本年10月末の市街化区域の編入に向けた都市計画手続きを進めております。

次に、恵庭かわまちづくり計画事業についてですが、昨年度に河川管理者である国と連携した計画書を作成し、本年度より緑地造成に係る盛土工事に着手いたしました。

今後は、国と連携し事業を進めるとともに、花の拠点や住宅団地と連携し、景観や環境に配慮した花のまち恵庭にふさわしい整備を推進して参ります。

サイクルフェスタ・恵庭2018の実施について

次に、サイクルフェスタ・恵庭2018について申し上げます。

本事業は自転車を通じた恵庭の魅力の再発見、健康増進などを目的とするイベントで、6月には事業のさらなる発展と運営体制の強化を図るため、市内外の17の企業、団体と恵庭市が連携し、「サイクルフェスタ・恵庭運営協議会」を設立いたしました。

イベントは9月2日に開催し、昨年を上回る約220名の方々の参加がありました。

今後も、創意工夫を重ね、恵庭の秋を代表するイベントとして育てて参ります。

恵庭市市民活動
センター運営協議
会のNPO法人化
について

次に、恵庭市市民活動センター運営協議会のNPO法人化について申し上げます。

平成27年3月の開設から4年目を迎えた恵庭市市民活動センター運営協議会は、本年8月末現在、会員登録数は団体・個人・応援企業等合わせて164団体・個人となっております。

今後は、より一層市民や市民活動団体のニーズや情報、地域課題を的確に捉えながら支援するとともに、誰もが交流できる場として運営していくことが求められております。

こうしたことから、恵庭市との協働のもとに財政基盤を確立し、自主的かつ主体的な信頼性の高い組織としていくため、9月13日にNPO法人化の設立総会を開催することとしております。

恵庭市自殺対策
計画の策定につい
て

次に、「恵庭市自殺対策計画」の策定について申し上げます。

わが国の高い自殺死亡率への予防対策を目的として、市町村において自殺対策計画の策定が義務化されたことを受け、平成30年度中に「恵庭市自殺対策計画」を策定することとなりました。

計画策定の体制として、まず、5月に庁内関係部署で構成する作業部会を設置いたしました。

さらには、自殺対策基本法の趣旨を踏まえ、医療や教育、労働などに係る外部の有識者、関係機関・団体の代表で構成する「恵庭市自殺対策ネットワーク会議」を設置し、7月17日に第1回会議を開催いたしました。

ネットワーク会議において、計画の名称を「いのち支える恵庭市自殺対策計画」とし、今後は、庁内作業部会と連動しながら協議を重ね、計画策定を進めて参ります。

スポーツ振興に

次に、スポーツ振興について申し上げます。

ついて

東海地方で開催されました「平成30年度全国高等学校総合体育大会」についてであります。8月1日から8月6日まで三重県で行われた陸上競技において、恵庭北高等学校2年の御家瀬^{みかせ みどり}緑さんが女子100メートルに出場し優勝、恵庭南高等学校3年の芝田^{しばた まなか}愛花さんが女子100メートルハードルに出場し3位入賞を果たすなど、ともに素晴らしい成績を収められました。

また、8月10日から8月12日に静岡県で行われた新体操競技において、恵庭南高等学校3年の田口^{たぐち まさし}将さんが男子個人に出場し2位入賞、恵庭南高等学校新体操部が男子団体に出場し3位入賞を果たすなど、輝かしい成績を収められました。

なお、御家瀬^{みかせ みどり}緑さんはインドネシアのジャカルタで開催されました「2018アジア競技大会」においても、8月29日から8月30日に行われた女子4^{かける}×100メートルリレーに第1走者として出場し、素晴らしい走りを披露したところであり、今後さらなる活躍が期待される所です。

えにわ子育て応援
隊の設立について

次に、えにわ子育て応援隊の設立について申し上げます。

恵庭で子どもを生み、育てたいという市民を応援し、次代を担う子どもたちの健やかな成長を見守り、地域全体で子育てを応援することを目的に、市内の教育、福祉、医療、経済、地域の関係団体等で構成する「えにわ子育て応援隊」を、7月10日に設立いたしました。

お蔭様で現在の会員数は、既に152団体となっております。今後とも地域全体で子育てを応援するという機運を高め、本市の子育て支援をより一層充実させて参ります。

なお、11月には、全体会として、子育て応援セミナーの開催を予定しております。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

今年の作況状況であります。7月下旬からの好天により回復傾向にはあるものの、石狩農業普及センターの生育状況調査によりますと、農作物全般に6月の低温や7月及び8月の長雨など天候不順の影響がみられ、小麦と水稲はともに前年より収量減・品質低下が見込まれております。

また、酪農については、1番牧草の生育遅れにより7月21日開催予定の畜産共進会が中止となったところでありますが、収穫が始まった2番牧草は順調に刈り取り作業が進行しております。

これからは、少しでも回復されるよう願っています。

台湾投資拡大事業
について

次に、台湾投資拡大事業について申し上げます。

昨年度から、台湾からの修学教育旅行等の学生の受入れ促進を展開しておりますが、7月25日に台湾台中市において、恵庭市内事業者9名と現地の教育及び観光旅行事業者50名による「恵庭市教育・観光交流商談会 in 台湾」を開催いたしました。

さらに、地元の大学や高校5校、教育旅行事業者9社、台湾知日協会を訪問し、教育や観光における交流や連携について要請いたしました。

また、9月3日から5日に在日台湾華僑30名を招聘し、市内事業者と観光や食などの個別商談を行いました。

今後も引き続き、台湾からの投資を呼び込む取組を継続して参ります。

藤枝市との広域
連携について

次に、藤枝市との広域連携について申し上げます。

昨年8月に藤枝市・恵庭市農商工連携広域ネットワークが設立され、両市の地域産品を活用した商品ブランド化プロジェクトを展開し、共同のネットショップ「藤の恵」を開設しております。

新たな掲載商品の開発等を図るため、7月23日に本市の事業者

10社と、藤枝市の事業者11社によるマッチング商談会を、藤枝市で開催したところでありますが、今後も藤枝市で生産された農畜産物を活用した商品開発を支援する補助金の活用促進など、ネットワーク会員の支援を進め、地域経済の振興を図って参ります。

恵庭市人材確保計画について

次に、恵庭市人材確保計画について申し上げます。

千歳・恵庭管内の有効求人倍率は、昨年9月から連続して1.0倍を超えており、今後は、少子高齢化の進行や、企業の進出、拡大などにより、様々な業種での人手不足に対応していく必要があります。

本市としましては、有識者等による検討委員会を7月に設置し、「マッチング機会の提供」、「人材育成の推進」、「多様な働き手の確保」の3点を柱に「(仮称) 恵庭市人材確保計画」の策定に向けて検討を開始いたしました。

夏のイベント事業について

次に、夏のイベント事業について申し上げます。

6月23日・24日に「恵庭花とくらし展・えにわマルシェ」を開催しました。好天にも恵まれ、両日の来場者数は昨年度より24パーセント増の2万6,000人を数えました。

また、7月13日・14日には恵み野のオープンガーデンを循環するバスを運行し、周遊する「めぐみの庭めぐり」を開催しました。

道央圏での事前PRを展開した結果、両日の参加者は延べ800人を数え、8割が市外からの参加となり恵庭の魅力発信に寄与したものと考えます。

学生消防サポーター制度について

次に、学生消防サポーター制度について申し上げます。

8月から市内に居住又は通学する大学生等を対象に、新たに学生消防サポーター制度を創設いたしました。今後も、消防・防災等の諸活動に

<p>消防指令業務共同運用について</p>	<p>おける協力体制を構築して、地域における防災力の向上に努めて参ります。</p> <p>次に、消防指令業務共同運用について申し上げます。</p> <p>平成27年度から本市のほか札幌市、江別市、千歳市、北広島市、石狩北部の石狩振興局管内6消防本部による消防指令業務の共同運用について検討を行ってまいりました。</p> <p>これについては、行財政面や住民サービス向上の面で多くの有効性が認められることから、本市として消防指令業務の共同運用を目指すこととし、引き続き、協議を行って参ります。</p> <p>これに伴い、本年度中に覚書、基本協定の締結を行い、2025年度から共同運用を開始する予定となります。</p>
<p>消防フェスタ等の開催について</p>	<p>次に、消防フェスタ等の開催について申し上げます。</p> <p>昨年度から9月9日の救急の日にちなみ、消防・救急・予防の市民意識の高揚を図り、自助、共助による安全安心なまちづくりを目指してありますが、本年度はえにわん産業祭と合同で開催いたしました。</p> <p>また10月には、このほかにも秋の全道火災予防運動行事の一環として、消防イベント開催も計画中であります。</p>

以上、第2回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。